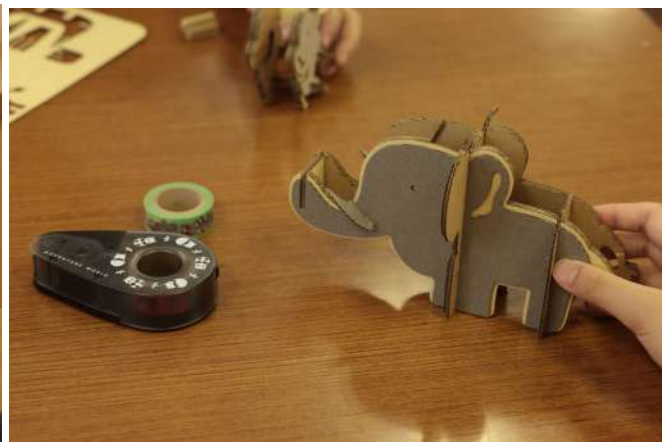


渋谷区の小学5年生×DAMBO×アドベンチャーワールドが約1年かけて共同開発 子どもたちの「アフリカゾウを守りたい」想いが商品化！

『アフリカゾウテープカッター』販売開始

2026年8月8日（土）・9日（日）に発売記念ワークショップを開催



アドベンチャーワールド（和歌山県白浜町）は、渋谷区立上原小学校5年生（令和7年度）およびDAMBO合同会社（東京都渋谷区、代表社員：柴田 雪菜 様）と連携し、探究活動を通じて「アフリカゾウを守りたい」という子どもたちの想いを形にした『アフリカゾウテープカッター』を2026年8月8日（土）より販売します。さらに商品販売を記念し、アニマルエデュテイナーから学んだアフリカゾウの現状や環境課題について、子どもたち自身がゲストとともに考え、楽しく学ぶ特別ワークショップを8月8日（土）・9日（日）に開催いたします。

【「Project with DAMBO 2025」とは】

「Project with DAMBO」は、渋谷区立上原小学校5年生がDAMBO合同会社と協働で進めた探究活動です。そこで生まれた企画をもとに、絶滅危惧種の「アフリカゾウ」をモチーフとした「アフリカゾウテープカッター」を開発しました。アドベンチャーワールドは動物生態や保全について監修し、アフリカゾウ担当のアニマルエデュテイナーから子どもたち向けにオンラインのレクチャーも実施してきました。



【販売商品について】

「アフリカゾウのテープカッター」には、「絶滅危惧種の現状を知ってほしい」「密猟からゾウを守りたい」という子どもたちの想いが込められています。子どもたちはアフリカゾウの生息地減少につながるパームヤシ問題について学び、パームヤシ由来素材やFSC認証素材を活用した環境に配慮した商品を企画。販売収益の一部を保全活動へ寄付する仕組みまでを含めたプロジェクトとして展開しています。



また、子どもたちは、毎日の暮らしの中で絶滅危惧種を身近に感じてもらえるよう、卓上に置くことができるコンパクトなサイズで、使用頻度の高いマスキングテープ仕様にこだわりました。「かわいいけど、大人っぽさもある」デザインにより、子どもから大人まで幅広くお使いいただけます。

さらに、アドベンチャーワールドのアニマルエデュテイナーやギフト・広報担当者が商品開発会議に参加し、多角的な視点から児童のアイデアの実現を支援しています。

販売店舗：パーク内ギフトショップ「AW」・公式オンラインショップ

販売価格：1,860円（税込）



【小学生が講師に！特別ワークショップについて】

商品開発を通して学んだことを今度は子どもたち自身がゲストに伝えるため、ワークショップを開催いたします。

「世界に一つだけのアフリカゾウテープカッター」づくり

日時：2026年8月8日（土）・9日（日）

場所：ふれあいの里

定員：各回15名

実施時間：

①午前10時30分～ ②午前11時30分～ ③午後1時30分～

④午後2時30分～ ⑤午後3時30分～

所要時間：約35分間

参加費：2,520円（税込）

参加方法：Terravieでの事前予約

<https://terravie-app.com/items/a2413e1d-aa26-442c-994c-c9aa4d3b6d34>

※当日も空きがあれば現地受付を実施いたします。

内容：世界にひとつだけのアフリカゾウのテープカッターを作ろう！商品開発を手がけた子どもたちと一緒に組み立てを楽しみながら、アニマルエデュテイナーによるレクチャーや環境クイズを通して、ゾウたちの魅力や野生で直面する課題を楽しく学べます。完成した作品は、思い出としてお持ち帰りいただけます。



〈プチイベント！ミニバッジ制作ワークショップ〉

■時間：午前10時00分～正午

■所要時間：約15分（好きなタイミングでご参加いただけます）

■場所：エントランスドーム

■参加費：無料

■内容：好きな色のパーツとデコレーションで、あなただけのオリジナルのアフリカゾウバッジを制作していただけます。バッジ制作を通してアフリカゾウについてちょっと詳しくなれるワークショップです。



【アニマルエデュテイナーより】

木村将史（きむら まさし）アフリカゾウ飼育担当

経歴：学生時代は野生動物について学びました。卒業後は犬や猫の保護施設で働き、その後アドベンチャーワールドに中途採用として入社。

入社後はサファリワールドケニア号乗場を経験し、現在は草食動物の飼育（アフリカゾウとシロサイ）に携わっています。

特技：遠くからでも2頭のアフリカゾウを見分けることができます。

コメント：

今回のワークショップを通して今アフリカゾウが直面している環境問題などをゲストの皆様 に知っていただきたいです。また、子どもたちが一生懸命に考えた思いなども伝われば嬉しいです。



<DAMBO合同会社について> <https://dambo.tokyo/>

「子どもたちを想うきもちを、未来につなげる。」を掲げ、再生素材であるダンボールを活用した子ども向けプロダクトや、未来の地球につながる空間・体験の提案を行っています。また、親子で楽しめる環境・科学分野のワークショップや、学校・企業・専門家と連携した探究学習プロジェクトを通じて、子どもたちの問いや発想を社会へつなぐ取り組みを実践しています。